

◎基本情報

事務事業名	排水機場樋門整備事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	昭和 <input type="text" value="▼"/> 不明 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定 <input type="text" value="▼"/>
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市が管理する排水機場														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	(市単) 木津野排水機場改良設計業務 6,000千円 木津野排水機場水中ポンプ更新工事 45,000千円 (県費) 池谷柳の本地区浸水対策工事 45,000千円 (社会資本整備総合交付金事業) 大久保排水機場改良工事 89,000千円														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累計整備基数</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>67</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	累計整備基数	62	65	67	72	75	基
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
累計整備基数	62	65	67	72	75	基										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	補助金制度等を利用し、事業の進捗を図っている。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 基数	2	1	5	5	4	基
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	累計整備基数	61	62	—	—	—	基
	目標達成率(実績/目標)		95.4	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	52,250	13,500	111,200	0	8,050	185,000
		補正予算額	△ 48,950	0	△ 49,400	0	350	△ 98,000
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	3,300	13,500	61,800	0	8,400	87,000
		決算額	3,260	13,500	61,800	0	6,696	85,256
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		1.0	0.0		7,234		92,490	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	117,301	85,256	234,000	231,000	226,000
	うち一般財源	11,121	6,696	13,100	17,900	17,400
	人件費	8,560	7,234	7,234	7,234	7,234
	総事業費	125,861	92,490	241,234	238,234	233,234

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		予定していた事業は概ね完了した。
	効率性	B:概ね効率的だった		試運転などの動作確認より機能確保が確認できた。
②成果に対する評価	指標名	累計整備基数		予定していた事業は概ね完了した。しかし、大久保排水機場においては、国費の充当がなかったため断念した。
	目標	65	基	
	実績	62	基	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		事業は若干計画よりも進捗が遅れたものの、概ね計画通りである。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ポンプ1基を更新する費用が莫大であるため、現在は道路の防災・安全交付金を利用していますが、採択基準の見直しや要望に対する交付率の低下を踏まえ、河川等別のメニューによる交付金事業に採択されるよう、検討する必要があります。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	弁財天排水機場水中ポンプ更新工事 N=1基 22,000千円 黒崎排水機場水中ポンプ更新工事 N=1基 54,000千円 立岩区画排水機場施設更新工事 N=1基 23,000千円 池谷柳の本排水機場新設工事 N=1基 45,000千円 大久保排水機場改良工事 N=1基 90,000千円			
	H31年度	定期的な運転管理や施設管理を通じ、問題箇所の抽出を行い適切な修繕計画を行う。修繕計画から改良工事や施設の維持を適切に行っていく。			